



学校法人 小林学園 本庄東高等学校

きりぐるま

第154号

建学の精神
本校は人間の尊厳を教え
社会に期待される素地を創り
人生に望みと喜びを
与えるところである



入学によせて

本庄東高等学校 入学式式辞より

理事長・学校長

小林 玉枝

桜咲く春の佳き日、第五八回入学式を恙なく執り行うことができました。新入生四一八名、並びに保護者の皆様には、心よりお祝いを申し上げます。

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。私も本庄東高等学校は、皆さんを心から歓迎するとともに、今日からの学園生活が全員にとって有意義なものとなることを願っております。皆さんは、これからの高校生活において、多くの人や物事に会うことになると思います。体育祭や学園祭などの学校行事を始め、毎日の授業や部活動、さらには生活全般に至るまで、私たちの日常は様々な物事や人々との出会いで彩られています。その中でも、特に大きな出来事や印象的な出会いに対しては、誰もが真剣な気持ちで向き合い、特別な注意を払うことでしょう。

それに対して、毎日繰り返される物事や、いつも身近にいる人々との触れ合いには、とかく注意を払わないものではないです。それどころか、日常的なことには、「出会い」という意識も持たなくてはなりません。大切にしようとする気持ちも忘れてしまいます。けれども、日常のごくさやかな物事との出会いや、身近な人と交わっているいつもの会話は、一つとして同じものの繰り返しではないのです。同じように見えても、一つひとつの出会いにはただ一度だけのもの、二度と繰り返されることはありません。こうした日常的な物事との出会いこそ、大切にしなければなりません。

また、もう一つ、お願いしたいことがあります。それは、命の大切さを感じ、自分のことも他の人のことも、常に大切にしたいという気持ちです。本校の建学の精神は、「人間の尊厳を教え、社会に期待される素地を創り、人生に望みと喜びを与える」というものです。人間存在の尊厳を思うことから、自分をも他人をも大切にすることが生まれます。そして、その気持ち「素直な心」や「感謝の心」を育み、自分の内面を成長させてくれるのです。高校生活の三年間を通して、自分の心をより豊かに成長させてもらえるように期待しています。

茶道には「一期一会」という言葉があります。茶会に臨む時には、一生に一度きりの機会だと思ひ、主人も客人も真心を込めて努めよと、この言葉は教えています。授業を始めとした毎日の学校生活に対して、一度きりしかないという「一期一会」の気持ちで向き合ってください。その積み重ねが、皆さんの三年間を充実した実りあるものにしていくはずなのです。

また、もう一つ、お願いしたいことがあります。それは、命の大切さを感じ、自分のことも他の人のことも、常に大切にしたいという気持ちです。本校の建学の精神は、「人間の尊厳を教え、社会に期待される素地を創り、人生に望みと喜びを与える」というものです。人間存在の尊厳を思うことから、自分をも他人をも大切にすることが生まれます。そして、その気持ち「素直な心」や「感謝の心」を育み、自分の内面を成長させてくれるのです。高校生活の三年間を通して、自分の心をより豊かに成長させてもらえるように期待しています。

日々全力

一学年主任 栗田 直正



新入生のみならず、ご入学おめでとうございます。今日は、新しい担任の先生、新しいクラスメイトとの出会いの日です。自分が過ごす環境に一日も早く慣れ、目標実現に向けた努力を開始してください。

三年間のスタートにあたり、三点お願いがあります。まず、前向きになること。過程はどうあれ、今日から過ごす東高校こそが、皆さんの「最善の環境」です。

変えることのできない過去を振り返り、どうにでもなる現在と未来をないがしろにしないでほしいのです。今までの経験を糧にし、これから出会うすべての出来事を前向きに受け止め、「東全力」で取り組みましょう。

最後に、感謝の気持ちを忘れないこと。私たちは、決して一人では生きていきません。常に誰かに支えられ、誰かを支えながら生きています。身の回りのすべての人にて感謝しながら生活してください。

成長し続けよう

教頭 木村 喜一



新入生の皆さんご入学おめでとうございます。在校生、そして先生方と共に皆さんとの新しい出会いを大変楽しみにしております。これまで皆さんを温かく見守ってくださったご家族を始め、支えていただいた多くの方々に感謝しながら、自分自身の更なる成長

本庄青葉幼稚園だより

園長 遠山純子



四月九日、入園式が行われました。新しい制服に身を包み、少し緊張した様子で、保護者に手を引かれ門をくぐった小さなかわいい新入園児たち。「幼稚園ってどんな所かな」と、期待と不安で小さな胸を膨らませていることでしょう。いよいよ初めての集団生活がスタートします。

在園児は手作りのメダルを用意して迎えます。泣いている新入園児と手をつないだり、頭を撫たり、優しく声を掛けます。自分自身も嬉しかった記憶が残っているのでしょうか。この時期には、心も体もひと回り大きく成長し、ほっこりしたエピソードが沢山あります。その姿は誇らしさと自信にあふれキラキラと輝いています。



二つ目は部活動や生徒会活動への参加です。部活動を通して心身を鍛え、同じ学園に学ぶ仲間として将来の夢を語り合い、先輩・後輩との絆を深めることは必ず将来の財産になるものと確信しています。今年も文武両道を実践し、進路希望を実現した多くの先輩たちが自信にあふれた顔で学び舎を巣立っていききました。ぜひ素晴らしい先輩たちに続いてほしいと思います。

速報! 東京大学 1名 京都大学 2名 合格! 6年連続 東大合格!